



SUPPORT

STUDY SUPPORT

- P.141 情報メディア教育
- P.142 各種支援センター

CAMPUS LIFE SUPPORT & TUITION

- P.143 施設・各種保険・サービス
- P.144 学費・その他の納付金
- P.145 奨学金
- P.147 校友会・父母会

STUDY SUPPORT

情報メディア教育

■ 最先端ICT環境を整備し、「教育の情報化」を積極的に推進

ICT

最新のメディア機器

明治大学は先進的なICT設備、学習支援システム、情報教育カリキュラムを整備し、教育の情報化を積極的に推進しています。各キャンパスの多くの教室にパソコンや各種メディア機器を設置し、ICTを活用した授業が行われています。メディア教室・メディア自習室には多数のパソコンが設置され、学生が利用できるようになっています。また個人のパソコンを大学のネットワークへ接続して利用するための「無線LANスポット」などの設備や、自宅などから大学のネットワークへアクセスできる「VPN接続サービス」などの各種情報サービスも利用できます。新入生は学生証が交付されるとすぐに自分のメールアドレスが取得でき、大学のメールシステムを使うことができます。



いつでもどこでも学べる高等教育

メディア授業(eラーニング)

一部の科目でメディア授業(eラーニング)を実施しています。オンデマンド型のメディア授業では、講義動画等をインターネットで配信するため、時間や場所を選ばずに授業を受けることができます。また、Web会議システムを利用したり、リアルタイム授業だけでなく、インターネットを介したグループワーク、海外を含む他大学との連携や交流などを積極的に実施しています。



マイクロソフト製品の利用

明治大学の学生は、Word・ExcelなどのOfficeソフトやOneDriveなどのサービスを各自のパソコンなどで無料で利用できます。

学習支援システム

「Oh-o! Meiji」

インターネット上のキャンパス

「Oh-o! Meiji」システムはインターネットを利用した全学的な学習支援システムです。講義や大学生活に関する様々な情報の送受信や管理をすることができます。システムの玄関である「ポータル」には、大学からの連絡事項や個人の予定も管理できるカレンダーなどを配置しています。「クラスウェブ」は、シラバス検索、配布物や授業資料のダウンロード、レポート提出、履修者同士のディスカッションなどに対応しており、多彩な機能で学習をサポートしています。このほか、授業以外のコミュニティでの情報交換にも対応するグループ機能、学生が4年間の自分の学びを振り返ることができるポートフォリオ機能などもあります。



PCスキルアップ講習会

情報関連講習会

レポートや卒業論文、ゼミでの発表、就職活動など、大学生活に欠かせないのがパソコンです。明治大学の学生であれば誰でも無料で、情報関連講習会を受講できます。この講習会では、Microsoft Office (Word, Excel, PowerPoint) の基礎から応用に加えて、本格的なデザインにも使用されるAdobeソフト、さらに統計解析ソフトやプログラミング言語など、様々なスキルを身につけることができます。

以下の講習会の動画とテキストはHPでも閲覧できます。

- Word
- Excel
- PowerPoint
- Access
- UNIX / Linux1
- Photoshop
- Illustrator
- Premiere
- Scratchで学ぶプログラミング

各種支援センター

■ 学生の力は、地域社会の様々な場面で必要とされています

学生のボランティア活動を全学的に支援

明治大学ボランティアセンター



神田猿樂町会の「華を楽しむ会」に参加した明大生

明治大学は、学生のボランティア活動を全学的に支援しています。学生が、社会性や自主性を備えた、社会に有用な人材に育つことを目的としています。駿河台・和泉・生田・中野の各キャンパスにボランティアセンターがあり、学生スタッフやボランティアサークル、有志団体、個人、そのほか、多様な形のボランティア活動について、スタッフが相談に乗りサポートするほか、様々な情報を提供しています。また、各キャンパスが立地している自治体や地域と連携・協働して、「防災」「福祉」「サイエンス」「社会連携」など、様々なテーマのプログラムも開催しています。



■ ボランティア体験談

情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科2年
高島 一樹 さん
愛知県私立東海高等学校卒業

私が新しいサークルを設立したきっかけはボランティアセンターでした。1年生の秋に自分のライフスタイルにより適したボランティア活動がないか、センターの職員の方々に相談したところ紹介されたのが、走って行うパトロール活動「パトラン」。「パトラン」はスポーツと社会貢献を同時にできることが特徴です。参加しているうちに、より多くの大学生と一緒に活動したいと思い、新しいサークルを設立することを決意しました。設立には様々な困難がありましたが、職員の方々が真摯にサポートしてくださり、ありがたいことに、現在では明治大学地域連携推進センター「地域連携活動助成金」の対象に選んでいただけるようになりました。将来は、この経験を活かし、社会問題を解決できる人材になりたいと思っています。

多様な性に配慮した教育研究環境を整備

明治大学レインボーサポートセンター

性のあり方にかかわらず、すべての学生が適正に教育研究その他の活動を行うことのできる環境の整備および、あらゆる多様性を受容・尊重できる価値観を有する人材の育成に資することを目的として、2020年2月に設置。多様な性のあり方に関する大学生生活での困りごと等への相談にも応じるほか、講演会や研修会等の実施、라운ジの開室、資料の閲覧・貸出を行っています。

全国の自治体との連携と学生による地域振興活動

地域連携推進センター



音楽イベントなどで御茶ノ水盛り上げる「明大町づくり道場」の活動

明治大学では、教育・研究に並ぶ第三の柱として、社会連携・地域貢献に取り組んでいます。その推進役を果たしているのが、地域連携推進センターです。明治大学の3人の創立者の出身地である鳥取県鳥取市、山形県天童市、福井県鯖江市のほか、4つのキャンパスと関係が深い東京都千代田区、杉並区、世田谷区、中野区、神奈川県川崎市、さらに徳島県や長崎県、和歌山県新宮市や千葉県成田市など、全国各地の自治体と連携しています。住民の生涯学習推進、文化・産業等の振興など、地域の要望や

課題に応じた事業を展開し、地域社会をサポートしています。また、各地域と連携した学生による地域振興活動の推進にも力を入れています。千代田区では、学生団体「明大町づくり道場」が「音楽を通じた千代田区の町おこし」をコンセプトに、駿河台キャンパス周辺および千代田区内において、音楽ライブの企画・運営や子供たち向けのワークショップを開催しています。



■ 学生派遣プログラム体験談

鯖江市連携事業
法学部法律学科3年
中川 綾太 さん
埼玉県私立昌平高等学校卒業

このプログラムでは4人で1つのチームを組み、事前学習、現地調査、中間報告、フォローアップ研修を経て、成果発表会に臨みました。今回私達は鯖江市から「北陸新幹線の福井県内開業するも駅のない市の市考察(新幹線スルーのまち)」というテーマで課題を頂き、鯖江の魅力を伝えるため活動を進めていきました。事前学習では、本学の教授や市役所職員の方からレクチャーを受け、現地調査では5日間にわたって様々な関係者のお話を聞きました。その後、成果発表会に向けて4人で協力してプレゼン資料を作成しました。実際の現場を肌で感じ、問題解決に向けて挑戦できるよい機会になりました。このプログラムの関係者の皆様へ厚く御礼を申し上げます。



明治大学の「知」を社会に還元する生涯学習
明治大学リハティアカデミー

リハティアカデミーは、明治大学が知的財産を社会に還元するための生涯学習拠点として、1999年に設立されました。駿河台キャンパスやオンラインを中心として年間約250講座を開設し、学生から社会人、シニア層まで多様な方々が学んでいます。講座内容は、明治大学の教授陣が中心となり、現代社会や文学、芸術、世界の文化などを解説する「教養・文化講座」、財務・会計や戦略とマネジメントなど最新のビジネスエッセンスを提供する「ビジネスプログラム」、明治大学生限定の毎日学べる実践英会話やTOEIC®L&R対策講座など多岐にわたり、興味に合わせて講座を選んで学ぶことができます。

